

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

決済と金融領域においてテクノロジーを力に社会変革を担うプラットフォーマーを目指す

登録ユーザー数
7,336万人決済取扱高
19兆円超連結営業収益
3,807億円調整後EBITDA
1,111億円

② 中長期の経営戦略

1. デジタル金融プラットフォーム構築

2025年4月にPayPay証券・PayPay銀行を連結子会社化し、決済から預金・融資・資産形成までシームレスに繋ぐ

2. クロスセル施策の加速

ユーザー基盤を銀行・証券等金融サービスヘシームレスに繋げ、収益基盤の多様化を図る

3. eKYCユーザー拡大

2026年3月時点でeKYCユーザー数4,000万人超確保し、安全性と利便性を両立した金融サービス提供

4. グローバル展開推進

2025年9月Binance Japan株式40%取得、2026年2月米国Visa社と業務提携、3月ナスダック上場

③ 対処すべき課題

① 決済・金融の成長加速

- ・国内キャッシュレス決済回数20%占有の中核事業の継続拡大
- ・金融事業拡大に伴うグループ横断的リスク管理の高度化
- ・上場企業・特定社会基盤事業者としてのガバナンス強化

② サービスレジリエンス強化

- ・システム障害・サイバー攻撃・災害有事の安定供給体制整備
- ・事業規模拡大に伴う障害・インシデント影響度増加への対応
- ・サプライチェーン全体を視野入れた管理水準向上

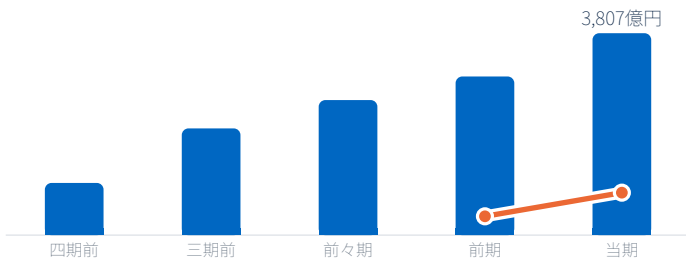
③ 金融犯罪対策の高度化

- ・AML/CFT・拡散金融対策・不正対策の巧妙化に実効的対応
- ・リスクベース・アプローチに基づく継続的高度化推進
- ・本人確認・取引モニタリング等の実効性強化

面接で使えるポイント

- ・2026年3月ナスダック上場を経て、国策キャッシュレス化推進の牽引役として高い成長性を維持する経営方針
- ・7,336万人の登録ユーザーを活かし決済から金融をシームレスに繋ぐ事業展開戦略
- ・特定社会基盤事業者として、社会インフラの安定供給・セキュリティ・金融犯罪対策を経営の最重要課題と位置づけ

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,807億円営業利益率
21.0%財務健康度
58点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 56.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

